

けています。子どものころから本物の芸術に触れ合える福井県にしていきたいと思えますね。

窪田さんにも、昨年、子どもたちを前に演奏していただき、ありがとうございます。

窪田 子どもたちが小さいときから質の高い音楽を聞くことが、音楽の才能を伸ばす上でとても重要だと思います。私も小さいころから地区の音楽会や演奏会など、身近に音楽に触れ合う機会に恵まれたことが、今の道を選んだきっかけともいえますので、県の芸術や文化活動に対するバックアップには感謝しています。



県内すべての小学5年生がプロの音楽家によるコンサートにリコーダーや合唱で参加した「ふれあい文化子どもスクール」

井の人がさまざまな分野で頑張ってきたことを知ってもらい、ふるさとへの誇りや愛情を深めてほしいですね。

**夢や希望が持てるふるさと福井を**

**知事** 最後に皆さんが将来にどんな夢や希望を抱いているか、

基礎体力の高さがありますね。

さらに、子どもたちに幅広くスポーツを楽しんでもらおうと、放課後にドッジボールなどで体を動かす活動も進めています。

—平成30年には2度目の福井国体が予定されていますね。

**知事** 本県が目指す「新しい形での国体」を具体化するため、基本的な姿を示すビジョンを昨年策定し、準備委員会も設置するなど、開催に向け作業を着々と進めています。

—福井は、三好達治、中野重治、高見順などの作家や文化人も輩出していますね。

**知事** もう少し遡りますと、近松門左衛門や、橘曙覧もいます。また最近では、福井出身の女性作家が目覚ましい活躍を見せています。

こうした福井ゆかりの偉人や、現在活躍する達人などの功績を紹介し、子どもたちに福井の歴史や文化を学んでもらおうと、全国初の子どもの対象とした歴史文化施設「県立子ども歴史文化館」を開館しました。

子どもたちには、昔から現在に至るまで福井の人がさまざまな分野で頑張ってきたことを知ってもらい、ふるさとへの誇りや愛情を深めてほしいですね。



窪田恵美さん(東京芸術大学3年) 鯖江市出身のフルート奏者。昨年10月の日本音楽コンクールで入選したほか、数々の国際コンクールに出場するなど活躍

**北山** 今年の春から県外の企業に就職することが決まり、社会人としてポートを続けることになりました。全国から強豪が集まるチームなので、精いっぱい練習に励み、高いレベルで戦える選手になりたいです。そして、再び日本代表に選ばれ、オリンピックで

トを始めたきっかけや、コンクールの際に印象に残ったことを教えてください。

窪田 小学3年生の時に入ったブラスバンド部でフルートに出会い、繊細な音色にひかれて、どんどん夢中になっていきました。

また、神戸の国際コンクールでは、日本人のはっきりとした丁寧な吹き方に対して、外国人の演奏者は感情を入れて、やわらかく繊細に音を奏でていたのが、とても参考になりました。

—子どもたちに芸術や文化に親しんでもらおうと、県ではさまざまな活動を行っていますね。

**知事** 毎年「ふくい子ども文化祭」を開催し、小中高校生による合唱や吹奏楽などのステージ発表の場を設けています。また、音楽家が学校を巡回して演奏会を開いたり、県立音楽堂でプロのオーケストラや、福井出身の若手演奏家による一流の音楽を県内すべての小学5年生が鑑賞する機会も設

ぜひ聞いてみたいですね。

**新谷** 僕は、理科と数学が好きで、人の命を助ける仕事にあこがれていますので、医者になりたいです。そこで今年は、来年の高校受験に向けて、しっかりと勉強したいと思います。

も活躍できるように頑張ります。

窪田 さらに音楽を勉強し、プロのオーケストラを目指したいです。全体の一部として演奏するオーケストラでは、幅広い音色を奏でる技術が求められますが、今の私を持っている「色」はまだまだ少ないので、今後は表現力をもっと磨いていきたいと思っています。

—夢や希望といえば、県では昨年、将来ビジョンを策定しましたね。

**知事** 県議会との議論を踏まえ、「希望ふくい」の創造を基本理念とする「福井県民の将来ビジョン」を策定しました。おおむね10年後を見通して、県民、企業、団体、そして行政など、あらゆる立場の人たちが力を合わせて、大きな夢や希望を持つことができる福井県をつくっていきましょうというビジョンです。今後は、このビジョンに基づき、「新しいふるさと」づくりを進めていきたいですね。



北山紗衣さん(小浜水産高校3年)

女子ポート部に所属し、昨年6月の全日本ジュニア選手権大会シングルスカル種目で優勝。同8月の世界ジュニア選手権大会(チェコ)や第1回ユースオリンピック(シンガポール)に出場

—福井は、三好達治、中野重治、高見順などの作家や文化人も輩出していますね。

**知事** もう少し遡りますと、近松門左衛門や、橘曙覧もいます。また最近では、福井出身の女性作家が目覚ましい活躍を見せています。

こうした福井ゆかりの偉人や、現在活躍する達人などの功績を紹介し、子どもたちに福井の歴史や文化を学んでもらおうと、全国初の子どもの対象とした歴史文化施設「県立子ども歴史文化館」を開館しました。

子どもたちには、昔から現在に至るまで福井の人がさまざまな分野で頑張ってきたことを知ってもらい、ふるさとへの誇りや愛情を深めてほしいですね。

子どもたちに芸術や文化を

—窪田さんは、昨年の「日本音楽コンクール」で入選。また、「神戸国際フルートコンクール」など、国際的なコンクールにも数多く出場しています。フルー

間」の存在です。ポート部員数は少ないのですが、全員で励まし合うチームワークの中で、毎日練習を続けてきたことが一番の誇りです。

また、ユースオリンピックでは、外国人との体格の違いを痛感したので、もっと体力を付けて、練習を大切にしていかなければならないと思いました。

**知事** 昨年は、北山さんの活躍のほかにも、若狭高校の女子ポート部や美浜中学校の男子ポート部が全国大会で優勝するなど、すばらしい成績を残しています。この背景には、3年連続して全国トップクラスという福井の子どものたちの

基礎体力の高さがありますね。

さらに、子どもたちに幅広くスポーツを楽しんでもらおうと、放課後にドッジボールなどで体を動かす活動も進めています。

—平成30年には2度目の福井国体が予定されていますね。

**知事** 本県が目指す「新しい形での国体」を具体化するため、基本的な姿を示すビジョンを昨年策定し、準備委員会も設置するなど、開催に向け作業を着々と進めています。



国体に向けた選手育成のため、子どもたちにはなじみの薄いスポーツを体験するイベントも開催

まっぴろいすね。

**北山** 国体には、卒業した中学校や高校のある県から出場できる「ふるさと選手制度」がありますので、もし平成30年に県外にいたとしても、福井県代表として出場し、故郷に貢献できたらいいなと考えています。

トを始めたきっかけや、コンクールの際に印象に残ったことを教えてください。

窪田 小学3年生の時に入ったブラスバンド部でフルートに出会い、繊細な音色にひかれて、どんどん夢中になっていきました。

また、神戸の国際コンクールでは、日本人のはっきりとした丁寧な吹き方に対して、外国人の演奏者は感情を入れて、やわらかく繊細に音を奏でていたのが、とても参考になりました。

—子どもたちに芸術や文化に親しんでもらおうと、県ではさまざまな活動を行っていますね。

**知事** 毎年「ふくい子ども文化祭」を開催し、小中高校生による合唱や吹奏楽などのステージ発表の場を設けています。また、音楽家が学校を巡回して演奏会を開いたり、県立音楽堂でプロのオーケストラや、福井出身の若手演奏家による一流の音楽を県内すべての小学5年生が鑑賞する機会も設